

名も無き詩の鑑賞会
～The Poetry With Noname～
【かなのNew Poetry House 日誌】

◇ 2010/01/24 (Sun)

新しく詩のイベントを定期開催してみようってハナシで、フライヤーを見せてもらった。前回あきポエで知り合った、岩手県の詩人さんたちがやってるらしい詩のイベントみたいなの？ 秋田で実際にやったらどんな感じだろう？ わくわくする♪

◇ 2010/02/21 (Sun)

台評会には参加出来なかったけど、前に聞いた新しいイベント、三人でやってみようってお誘いして貰った。大丈夫だろうか？ 不安もあるけど、あきポエがあつてから時間もたつて、エネルギーが爆発しそうな感じだから、勢いでなんとかなる？ とりあえず参加はする。ぜったい♪だってなんだか楽しそう！

◇ 2010/03/07 (Sun)

いよいよ来週に迫ってきた。本家を見学してから臨みたいってことで、滝沢村の「ぼくらの理由」にお邪魔する。ひとりが用事で来られず、二人で訪問。緊張して何もしゃべれなかった…。予想をはるかに上回る、かなりディーブな会で衝撃を受けた。まさしく、勉強会としての場なんだと思っただし（とにかく勉強は大切だっておそわった）楽しみたい、なんて呑気に構えている自分が係わつてていいのかな？ 不安がむくむく。帰り道に弱音を吐いたら、同じ方法でも少し違う楽しみ方、秋田は秋田のカラーで、とにかく始めてみようって話になって少しホッとす。緊張したのは私だけじゃなかった！ 今日は来られなかった彼は、どう思うかな？

◇ 2010/03/14 (Sun)

ついに第一回目。玄関付近でキョロキョロしている方に声をかけてみたら、参加者！秋田県現代詩人協会の会員さんなんだって。誰も来なくて三人だけでもいいよね、なんてカクゴしてたけど、他にももうひとり遊びに来てくれた…！ 持ち込まれた詩をリラックス・ムードで味わいながら、これってなんだか紹介してくれてる人にすごく近い感覚？ って気がしたけど、好きなものを

持ち寄ってるから当然？ でも不思議。最後はミニワーカーショップで遊んでさらに盛り上がり、わたしは大満足。みんなはどんな感想かも気になる！ とにかく一回目が開催されて、なんとなく雰囲気が見えて来たのかも♪

五人で鑑賞した詩のタイトルは：
・葬式に行くカタツムリの唄
・ぼくとアスバラ
・鴉よ
・天使
・靴音
・はなやさんの まどは

◇ 2010/05/09 (Sun)

第二回目を開催。前回参加してくれた二人が、また遊びに来てくれた。どうだったかなうって気になってたけど、続けて会えたことが答えのように思える。初めましての方は三人。聞いてみると、みんな入口はあきポエ！ 問い合わせしたら、こちらを紹介してくれたんだって。繋がってる実感。うれしい。今回は、ギターで弾き語りをしてく

ードバック☆ 会員が自身の詩を一編ずつ朗読。名前を伏せてないから少し照れくさい。パツと見ての第一印象だけでなく、あらかじめ読んでの意見…と思うと、これまどとは違う緊張も。それでいて、触れた瞬間の感覚も聞けて、贅沢〜！ 後半はいつも通りの名前の無い詩鑑賞会。会員以外の持ち寄ってくれた詩をみんなで鑑賞。かなり幅広い年齢層の集まった不思議な場は、それだけでもお互いに、刺激的♪

九人で鑑賞した詩のタイトルは：
・もしも 雨が愛ならば
・僕の知る世界
・水河期
・海市

◇ 2010/09/12 (Sun)

早くも第四回目。本家「ぼくらの理由」から三名が遊びに来てくれた！ 入れ替わりがあるなか開催毎に参加者が増え、同じ喜びを持つ人がこんなにいるんだ、と感じる。たくさんの人との出会いは、たくさんさんの詩や、詩に対する想いとの出会い。部屋中にカラッと並んだ顔。性別や世代や何かの垣根なんてカクジツに吹き飛んでる。今回

れたり、松井冬子の画集を囲んだり。ジャンルもいろいろ、詩を感じる。何かをもち寄って楽しもう、が具体的に実現！ 活発な発言が飛び交って時間が足りないくらい。前回好感触だったミニワークショップも、またまた最高に盛り上がり、これはもはや鉄板だ。そういえば、国際教養大学の大学生二人はリーディングに興味があつて、「次のあきポエはいつですか？」って聞いていた。あきポエの開催日は答えられなかったけど、こんな風に興味を持つているひとたちが、そのとき集える場所として、早くあきポエも開かれるといいな♪ 贅沢かな？

八人で鑑賞した詩のタイトルは：
・信じたいもの
・ピッカピカの店っこ
・蕎麦屋
・母は苦情を言いました
・ぼくらにある住家
・三つ葉のクローバ

◇ 2010/07/11 (Sun)

第三回目は、北の詩手紙の作品レビュー(合評会)との同時開催。会員のほか、高校生を含む初めましてメンバー二名が集まり追加のイスまで登場！ まずは五号のフイ

は、人数が多かったからか、多くの詩を鑑賞出来た。持ち寄られた詩は内容も幅広く、いろんな刺激が！ それぞれの刺激に、みんなが化学反応。想いを伝え合えてたように思う。これからも楽しい時間をつないで行きたい♪ 次回に続く♪ たぶん：

十二人で鑑賞した詩のタイトルは：
・我も古稀なり
・MISSION
・生活の柄
・彼方へ
・私は、馬を厩から引いてくるように命じた
・今夜
・たたく
・大人になったら
・姿なき入城
・約束
・向日葵

名も無き詩の鑑賞会 ~ The Poetry With Name ~
……
奇数月の第二日曜日、定期開催。
ひとりひとりの詩への想いを大切にします。